

練馬区体育協会 ニュース

加盟 (財) 東京都体育協会

創立 昭和24年10月(1949)

第 35 号

発行 昭和61年 8 月10日



総合開会式で入場する練馬区代表選手団

第三十九回東京都民体育大会

総合 男子 第六位入賞

〃 女子 第四位入賞

初のアベック入賞を達成する

第三十九回都民大会は、夏季(水泳)冬季(スキー)につづいて五月十八日より春季二十六競技が二週間にわたり行れ、練馬区は男子二十競技女子十競技に参加した。総合開会式は駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場に二十三区二十九郡市の代表三〇〇〇人の入場行進により開始された。練馬区代表は中島陸上競技協会会長を団長とし、以下五十名が二十番目に入場堂々の行進を行った。大会会長鈴木俊一都知事の挨拶(水上教育長代理)につづいて男女総合優勝杯の返還、各種目の優勝杯の返還、選手宣誓が行われた。各競技は十八日より熱戦の火ぶたが切られ、練馬区代表は各種目に善戦健闘、男子はテニス、バスケット、陸球、柔道、空手等が上位入賞し、総合六位入り、女子はテニス、陸上、卓球が大きく得点し、総合四位の原動力となった。

● 男子総合得点 七十四点 六位

● 女子総合得点 三十八点 四位

種目別成績

テニス	一〇点
水泳	四・五点
バスケット	八・五五点
軟式陸球	八・五五点
バドミントン	五・五五点
柔道	八・五五点
クレー	四・五五点
ライフル	五・五五点
空手道	九・五五点
女子総合得点	三十八点 四位
水泳	九・五五点
陸上競技	八・五五点
テニス	五・五五点
卓球	五・五五点
ソフトボール	五・五五点

● テニス 五月十八・二十四・二十五日 有明の森テニスコート

男子

練馬 3-0 町田

練馬 2-1 千代田

練馬 2-1 豊島

練馬 2-1 大田

決勝

江戸川 2-1 練馬

*後記 鶴 選郎

今年は若い新人二人が加わり、より戦力アップした顔ぶれとなった。今年から試合方法が単一複二というように昨年までと逆のポイントシステムとなった。また、昨年までは一人で単複両種目出場できたが、今年は一人一種目のみというところになったため、各区都市の戦力がどのように変化するかということに興味深い話題であった。いかに優勝が大変であるかということを感じ知らされた大会でもあった。昨年は一応優勝したのであるが、雨天の為決勝進出の四チームの同率優勝であったので、実質優勝ではなかったわけである。来年はより戦力アップして優勝といふ三文字を勝ち取ってきたい。

女子

五月十八日

品川区立総合体育館

練馬 3-1 墨田区

*後記 松村幸男

参加団体三十八チーム 練馬区は、第四コートで墨田区と対戦、先鋒上野選手相手の上段に対しよく攻め、二本勝ちし、幸先の良いスタートを切った。次鋒安藤選手は延長の末、を取られ惜敗。中堅田子選手○を先取したが、二本を返され敗退。副将田中選手○を先取したが、○を打たれ残念ながら勝負をきめられた。大將工藤選手○を先取したが、すぐ○を返され時間切れ引分けとなった。

男子

練馬 2-1 田無

練馬 2-0 豊島

準々決勝 目黒 2-1 練馬

練馬 3-0 江東 (二回戦)

練馬 1-2 練馬

世田谷 2-1 練馬

世田谷 1-1 練馬

世田谷 1-2 練馬

世田谷 1-2 練馬

世田谷 1-2 練馬

世田谷 1-2 練馬

世田谷 1-2 練馬

世田谷 1-2 練馬

世田谷 1-2 練馬

世田谷 1-2 練馬

世田谷 1-2 練馬

世田谷 1-2 練馬

世田谷 1-2 練馬

世田谷 1-2 練馬

世田谷 1-2 練馬

世田谷 1-2 練馬

世田谷 1-2 練馬

世田谷 1-2 練馬

世田谷 1-2 練馬

世田谷 1-2 練馬

世田谷 1-2 練馬

世田谷 1-2 練馬

世田谷 1-2 練馬

世田谷 1-2 練馬

*後記

芳賀洋子

ベストメンバーで参加し、男子は一回戦の田無の壮年ペアのうまさに屈したものの、一般二つを確実にとり三回戦へ駒をすすめた。豊島区戦では、第一ダブルスは一ゲームともセテイングという接戦をもに、壮年ペアは、楽勝で昨年同様ベスト八に進出した。しかし準々決勝の目黒区戦では、壮年ペアの健闘空しく、敗れた。女子は一回戦の江東区戦は、壮年一般とも楽勝、三回戦の世田谷区戦は、壮年ペアは楽勝、一般二つともファイナルゲームの末敗退、実力的には大差はなく、前評判高く、そろそろたるメンバーに圧倒された感で昨年の準決勝から大きく後退した。「捲土重来」

品川 1-0 練馬

*後記 原 豊

監督一名選手三名の団体トーナメント戦で四十一チーム参加。練馬区は監督宮嶋七段、大將須田參段、中堅上野式段、先鋒柿木初段が出場した。一回戦はシードされ、二回戦・三回戦とすべて一本勝ちで快勝した。四回戦は強剛世田谷区との対戦で、先鋒が敗れたが中堅、大將と一本勝ちで逆転勝ちした。準決勝品川戦も先鋒が敗れ、中堅、大將と善戦したが引き分けに終り、0対1で惜しくも敗れた。しかし堂々第三位に入賞し銅メダルに輝いた。

五月十八日、二十五日

有明テニスの森コート

男子

練馬 3-1 小金井市

練馬 5-0 荒川区

練馬 3-0 足立区

練馬 3-2 千代田区

準決勝 杉並 4-1 練馬

女子

練馬 3-0 国立

多摩 2-1 練馬

*後記 舟崎和誠

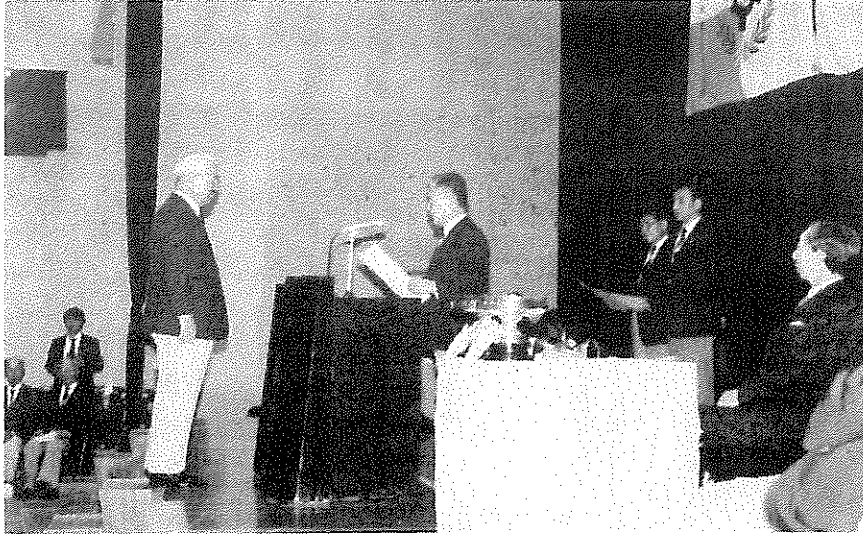
男子チームは善戦堂々第三位に入賞し銅メダルに輝き、女子は十六位の成績が残せた。男子は、成年・壮年が強力なうちに、一般も力を更につけ、来年は優勝をめざす。

株式会社 金 健 工 務 店

代表取締役 金子健三

練馬区旭丘 1-46

TEL 954-0123



団体表彰を受ける野口理事長

したい。又女子は、裏力的にはベスト4の力があり、来年はベスト4をめざしたい。

◎ バスケットボール

五月十八日 夢の島体育館
五月二十四日 駒沢球技場
五月二十五日 調布体育館
五月三十一日 駒沢球技場

男子
練馬 106-45 昭島

練馬 66-49 中央
練馬 72-70
準決勝
杉並 89-80 練馬

◎ 卓球

五月二十五日
渋谷区スポーツセンター
男子

国分寺 1 練馬
女子

練馬 一回戦ノード
練馬 3-0
練馬 3-0
板橋 1-3 練馬

*後記 吉浦邦良

男子は1回戦で残念ながら敗退した。女子は4回戦まで順調に勝ち進み4回戦で互いに手の内を知りつつしている板橋に善戦の末惜敗した。昨年と同じベスト8で終った。

◎ アーチERY

五月二十五日
駒沢公園第一競技場
第二十八位 一五七六点

*後記 島田勝男

風の影響は多少あったものの好天に恵まれ、やる気充分で挑みましたが、このような惨敗に終りました。敗因をあげると、一、経験不足 二、層が薄い 三、区内長距離射場がない 等々があげられる。来年こそは、一、対外試合を豊富にする 二、光が丘射場で長距離を精進する 三、初心者教室等から会員募集して、選手層をあつくる。以上により今年の汚名を晴らすことを約束します。
「若人よ来れ、練馬区若い血(二十台)で盛り上げよう」

◎ ライフル射撃

五月二十五日
朝霞防衛庁体育学校射場

参加三十チーム 総合七位
ARP六〇 竹内行英 七位
ARS六〇 橋本俊明
AP六〇 大友英男

FSSBP六〇横山茂樹
FSSBP六〇大浦公彦 一位

*後記 山田香太郎

前年のメンバーを一名入替編成した。強化練習も充実したが、当日ARS六〇及びFSSBP六〇が不調だったので下記入賞にとどまった。来年は上位入賞が期待できる。

◎ サッカー

五月十七日 二十四日
篠崎サッカー場
駒沢第二球技場
練馬 3-0 文京
杉並 0-1 杉並

*後記

◎ 空手道

五月十八日

駒沢総合運動場体育館
今年は昨年の雪辱を期するため強化練習に力を入れた。その結果、一回戦二回戦三回戦に勝ち進みましたが、四回戦は優勝した大田区と対戦し、善戦惜敗した。江東区と三位決定戦を行い、見事勝ちとなり、三位に堂々入賞し、約束を果たすことができました。ご声援ありがとうございました。

◎ 陸上競技

五月十八日
駒沢総合運動場陸上競技場
男子 総合 九位

武蔵野信用金庫大泉支店

練馬区南大泉 1-17-12

TEL 921-7211 (代)

女子 総合 四位

一般男子四〇〇米

第二位 鈴木利頭 五〇秒六

一般男子砲丸投

第三位 加藤源八 十一米六二

一般女子走巾跳

第一位 工藤千恵 四米九三

一般女子四×一〇〇米リレー

第一位 練馬区 五十三秒三

六月一日 大井ふ頭コースで行

われた駅伝競走は二十一位と振わ

なかった。

●クレール射撃

五月二十五日

千葉県成田射撃場

参加 三十九団体

総合 八位

部門別トランプ二位

パレーボール

五月二十五日

立川市民体育館

夢の島総合体育館

男子

北 3-1 練馬

秋川 2-0 練馬

●軟式野球

五月二十日

上井原球場

東久留米 2-0 練馬

前半は白熱した投手戦、相手投

手が暴走球で攻めれば、我が川村

投手も要所を締めて0対0のまま

中盤を迎えた。五回表練馬代表西

武鉄道チームは一死三塁及びそれ

に続く一死三塁の絶対好機を生

かせず、六回裏東久留米代表タイ

ワ精工チームに内野守備の乱れで

一点、七回にも長短打一本で二点

目を追加された。最終回一死満塁

と相手投手を苦しめたが、決定打

を奪えず惜敗した。高田光行

●ローラースケート

五月二十三日、二十七日

後楽園ローラースケートリンク

ホッケー

一回戦で優勝の文京区と対戦

の不運で5-0で敗退

スピード・リレー

転倒負傷で棄権

●馬術

五月十七日、十八日

日本中央競馬会馬事公苑

参加二十一チーム

総合 第十五位

なぎなた

六月一日

岸記念体育会館講堂

じつと座つて瞑想に耽ける人、

立ったり座つたり落着かない人、

胴垂を着けたスタイルで準備体操

をしている人、静かなさわめきの

中にも緊張した雰囲気漂つ。選

手は固志を胸に秘め、皆それぞれ

に試合開始前の一刻を過している。

この一年精進に精進を重ねて臨

んだ十九チーム、どのチームも勝

利を願っている事でしょう。杉並

・三鷹チームを皮きりに「落着い

てノ頑張って」必勝を期し全力を

あけて競い合う選手と気合の入つ

た掛け声で励ます応援席が一体と

なつて勝負しているチームはやは

り強い。我がチームは八王子を相

手に残念ながら敗退したが、団体

選手持つ八王子チームに今年の勝

利の女神が微笑んだ。

●ソフトボール

五月十八日、二十五日

福生市営競技場

女子

練馬 11-3 秋川

練馬 9-2 文京

練馬 10-2 東大和

府中 8-2 練馬

*後記

大泉コスモスは、チーム結成

三年目で始めての都民大会に練馬

区代表として出場した。とても責

任ある大会でもあるし、私選チー

ムが、どの位の力があるのか、知

る良い機会であり、不安と期待で

胸を弾ませのぞみました。結果思

つたより皆んな頑張り、勝ち進み

ベスト8に残りました。とても良

い勉強になりました。これからよ

り練習を重ね出場したいと思いま

す。とても有意義でした。

●自転車

六月一日 立川競輪場

練馬区 優勝 四十八点

八〇〇米速度競走

(二十五才~三十四才以下)

一位 西尾 優

二二〇〇米、二二〇〇速度競争

(二十四才以下)

二位 田神明彦(二種目)

三位 生形 肇

二二〇〇米速度競争

(二十五才~三十四才以下)

三位 西尾 優

*後記

今年も優勝した。3年連続通算

六回優勝したことになる。我々は

優勝を意識して競技をしている訳

ではない。出場した選手皆さん

が一生懸命力の限り競技した、そ

の結果がこのような優勝につなが

ったのである。

他地域でも強力な選手が多勢い

て厳しい苦戦を強いられた。実際

最終競技(ポイントレース)前の

得点は昭島市44点練馬区43点とい

うきわどいものであった。しかし

幅広く各種目に出場し善戦、よく

健闘した結果区に優勝の栄冠が輝

いた。大会終了後優勝祝賀会を開

催した処、各選手の顔は力の限り

頑張つたという満足感に満ちあふ

れていた。

●銃剣道

五月二十五日

台東区立リバーサイドスポーツ

センター 第一武道場

第四組 優勝

練馬、北、港、府中、新宿

決勝

練馬 3-0 中央

練馬代表チーム

監督 篠塚 守

第三信用組合練馬西支店

練馬区石神井町2-3618

TEL 904-0871

大将 石井博衛五段
中堅 二宮裕幸三段
先鋒 古岡 勝五段
補欠 野口弘樹三段

*後記

村井敏夫

今年度は強化合宿を数度にわたり実施し連日厳しく激しい練習をつみ大会に臨んだ結果昨年に続き優勝し二連覇を達成することができた。しかし今年は予選リーグ戦で強豪の新宿区を初め北区、港区府中市等の実力のある強いチームばかりが組合せられ、しかも予選リーグ戦は一本勝負のため失敗は許されず、各選手は積極果敢の精神で試合に臨み見事予選リーグ戦全勝で順位決定戦に進出した。準決勝では武蔵村山市と対戦し二勝一敗で勝ちいよいよ決勝戦にコマを進め決勝戦では進境著しい中央区と対戦したが波にのる練馬区選手団は三人共積極的に攻めそれぞれ一本勝ちをして優勝を決めた。

*後記 「来年こそ、男女そろって入賞を果したい」その念願が各加盟団体の強化練習と、選手の皆さんの努力、精神が契を結び、男女アベック入賞の栄冠を得たことは誠に喜ばしいこととあります。特に公開種目である自転車競技の五連勝、銃剣道競技の連続優勝は選手の日頃のたゆまぬ精励の結果であると同時に関係団体の皆様のお力添えの賜と心から祝福と感謝を申し上げます。来年も頑張りましょう。

天野文男

第三十九回練馬区民体育大会

華やかに区民大会開幕

総合体育館に

二十七団体集う



挨拶する田畑区長（体協名誉会長）

七月十三日、第三十九回区民体育大会の開会式は、区立総合体育館主競技場に於て開催された。梅雨時期を考慮し、昨年より総合体育館において実施し、成果を上げたので、本年も実行委員会にて充分協議し、万全を期した。

午前十時 開式通告

行進曲に合せ選手団の入場が開始され、区旗、体協旗、表彰団を先頭に二十七団体代表選手八〇〇名の行進が整然として行われた。

国旗、区旗、体協旗の掲揚

開会宣言 大会副会長

横山教育次長

開会挨拶 大会会長

岩波教育長

大会顧問

奥田体育協会副会長

来賓祝辞 名誉会長

田畑練馬区長

名誉顧問

田中練馬区議会議長

(来賓紹介・祝電紹介)

前年度優勝杯返還(レプリカ贈呈)

選手宣誓 水泳連盟

高山亜希子選手

表彰

1. 小口政雄スポーツ功労賞

2. 区体協 優良団体優秀選手

閉式通告 午前十一時

大会委員長

山本社会体育課長

ここで全選手団がスタンド、並に

塚田接骨院

練馬区石神井町3-27-7

塚田久三

TEL 996-0397

池袋信用組合練馬支店

練馬区豊玉上2-21

西平田 睦夫

TEL 993-7311-4

フロアの三面に移動し、エキジビションを鑑覧。出演者は昭和六十一年度東京都高等学校新体操大会に優勝の藤村高等学校の代表選手による新体操。華麗にして迫力あるすばらしい演技の披露に全員感嘆の拍手がなりびびいた。午前十一時五十分、選手団退場して終了した。

表彰内容

小口政雄・スポーツ功労賞

この賞は、本協会の創立者であり三十六年の永きにわたり、会長をつとめられた、故小口政雄先生の多大なる功績と、その名前を永遠に残すため昭和六十年度に制定されたものであります。

◎一回受賞者

野口嘉郎(現体協理事長)

理事・常任理事 五期 十年

理事長 五期 十年

○二賞

第三十回全日本銃剣道選手権大会三段以下の部 優勝

田辺陽子

一九八五年度太平洋柔道選手権大会七十二キログラム以下級に優勝

昭和六十年福岡国際女子柔道選手権大会七十二キログラム以下級に優勝

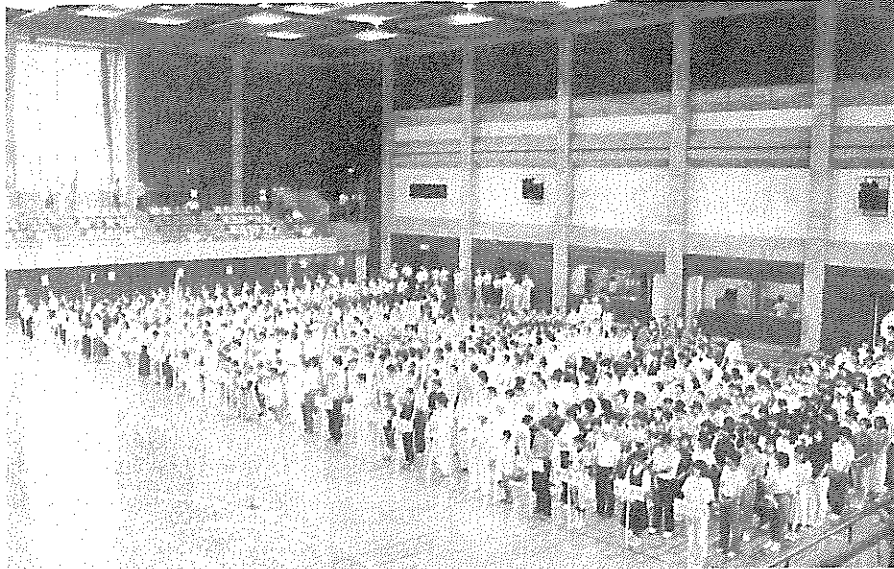
昭和六十一年・体協表彰

区陸上競技協会 都民体育大会

四×一〇〇米リレー・優勝

◎団体

区陸上競技協会 都民体育大会
四×一〇〇米リレー・優勝



全競技団体参加しての開会式

◎個人

中本祥子

全固定時制高校陸上競技

一〇〇米、二〇〇米 優勝

井上容子

少林寺拳法東京大会

一般女子有段者の部(型)優勝

日下部留菜

区自転車連盟 都民大会 優勝

少林寺拳法東京大会

一般女子有段者の部(型)優勝

西尾 優

都民大会自転車実用車

八〇〇米速度競走 優勝

仲山悦子

全関東社会人卓球選手権大会

女子フイフイ 優勝

落合薫

東京都中学校柔道団体重別大会

中階量級 優勝

関東中学校柔道大会 準優勝

東京都高等学校体育連盟柔道大会 三位

中野令子

東京都テニス大会女子シングルス四〇才以上の部 優勝

光真雅也

全日本銃剣道選手権大会二十五才以下の部 準優勝

新見浩一

全日本銃剣道選手権大会短剣の部 三位

和田辰也

全日本青少年銃剣道大会一〇才以下の部 三位

林田博子

東京都空手道選手権大会型・組手の部 優勝

岡山 健

東京都空手道選手権大会少年男子(高校)型の部 優勝

いよいよ水泳競技より全競技が次々と開始される。選手諸君の闘いを祈ります。

<p>志 水 接 骨 院</p> <p>練馬区南大泉 3-12-11</p> <p>志 水 光 三</p> <p>TEL 922-8040</p>	<p>弥 富 接 骨 院</p> <p>練馬区旭丘 1-13</p> <p>弥 富 洋</p> <p>TEL 952-5450</p>
---	---

城北五区体育協会連絡協議会

豊島・北・荒川・板橋・練馬

五体協の連絡体制が確立

七月二十一日・盛大に発会式



発会式会場

設立趣旨

城北五区は地理的に隣接し、歴史のなかにも交流が深く、スポーツの交流もさかんに行われて参りました。

ここに於て、今後の区民スポーツの振興発展を図るため、又各区域の情報交換と親睦を深め、同時に連帯を高めることを目的とする協議機関として設立する。

経過 設立協議

- 第一回 二月二十一日 豊島区
- 第二回 五月十九日 板橋区
- 第三回 六月 九日 練馬区
- 第四回 七月 三日 荒川区
- 第五回 七月十一日 北区

◎設立総会

日時 七月二十一日(月)
午後五時三十分

場所 練馬区・豊島園
出席者

- 豊島 前田・中村・大坪・板橋
- 北 綿引・藤枝・麻生・上野
- 荒川 桜井・三浦・藤岡・堀原
- 板橋 飯田・藤丸・大野・松尾
- 練馬 野口・寺崎・松井・天野
- 一、開会挨拶 飯田
- 一、座長選出

司会者一任となり、綿引北区
体協理事長が指名される。

一、経過報告と趣旨説明

前田豊島区体協理事長より、
今日までの経過が説明された。

一、会則の提案

野口練馬区体協理事長より、

会則案、並に一部修正が提案され、協議の結果次の通り

○第一条(名称)

城北五区体育協会連絡協議会

○第三条(事業)

次ぎの事業の立案を行う

○第四条(組織)

各区域体協執行役員4名をもって構成する。

以上を承認。

一、分担金・各区域一万円とする

一、役員選出

現在までの準備協議の経過から座長一任となる。

綿引座長より発表

- 委員長 野口嘉郎 (練馬)
- 副委員長 前田正美 (豊島)
- 綿引 清 (北)
- 桜井 保 (荒川)
- 飯田 金広 (板橋)

全員拍手の内に決定

一、野口委員長の挨拶

一、閉会挨拶 桜井

五区代表九十四名が集い
盛大に発会式開催

日時 七月二十一日
午後六時三十分

場所 豊島園、それゆゑ

来賓として、都体協、各区教育委員会より代表、各区体協、正副会長、執行部役員、並に城北五区・四区の競技種目団体の代表が参加して盛大に開催された。

<p>谷 沢 接 骨 院</p> <p>練馬区石神井台 2-29-37</p> <p>谷 沢 俊 嗣</p> <p>TEL 995-5298</p>	<p>阿 部 接 骨 院</p> <p>大泉学園町 6-28-12</p> <p>TEL 978-1494</p>	<p>坂 口 接 骨 院</p> <p>氷川台 4-49-11</p> <p>TEL 937-0660</p>
--	---	---

司会 天野文男(練馬)
 開会挨拶 桜井 保(荒川)
 経過報告 前田正美(豊島)
 役員発表 飯田金広(板橋)
 正副委員長が紹介された。
 委員長 挨拶 野口嘉郎(練馬)

今日まで近接する我々城北五区
 体協の間での連絡・交流がな
 った。昨春秋この協議会の設立
 が計画され、五回にわたる協議
 を経てここに連絡協議会の設立
 の運びとなった。

これからは、相互扶助の連絡体
 制を確立し、スクラムを組んで
 社会体育の充実に努力してゆき
 たい。

挨拶 奥山則男会長代行(練馬)
 幹事区体協を代表して、本会の
 発会式への参加各位に対しての
 歓迎とお祝いの挨拶が行われた。
 来賓挨拶

五区教育委員会を代表して、山
 本昭練馬区社会体育課長より祝
 辞が述べられた。

財団法人東京都体育協会を代表
 して渡辺弥太郎副会長より、地
 区体協の大きな前進を図る本会
 の発会に感謝とお祝いの挨拶が
 行われた。

五区体育協会の会長を代表して
 末高武板橋区体育協会会長より
 連絡協議会の発足への期待と
 希望が述べられた。

来賓紹介
 出席の各区教育会よりの来賓、並

に各区体育協会の副会長が司会者
 より紹介された。

練馬区体育協会・奥田真輔副会
 長の発声で乾杯
 懇談

この間に次の種目団体の代表の接
 渉が行われた。

。パレーボール代表

。八つ田北区体協副会長

。剣道代表

。武蔵荒川区剣道連盟理事長

。軟式庭球代表

。平野練馬区軟庭連盟副会長

。卓球代表

。佐瀬北区体協副会長

。陸上競技代表

。中島練馬区陸協会長

。中ノ・万才三唱

。佐々木武(都体協常務理事)

。北区体協副理事長の発声で本連
 絡協議会の万才三唱が行われた。

閉会挨拶 綿引 清 (北)

午後八時三〇分 閉会

後記 野口嘉郎

今各体協が第一に取り組んでいる

ことは「財団法人化」の問題があ

る。既に法人化した、板橋、そし

て今年、北、が一億で達成すると

云う。それぞれの区の事情もあつ

て状況は違ふものの、目標は同じ

だけに、この連絡協議会の意義は

大きい。相互扶助の体制によって

今後の地区体協の在り方から企画

運営の諸問題まで研究・協議が出

来る場となれば幸いと思っていま
 す。

第三十五回城北五区柔道大会

練馬区二十回目の優勝

六月十五日(日)

城西大附属・西高校体育館

一回戦

練馬区 9-3 北区

準決勝

練馬区 7-4 豊島区

決勝

練馬区 5-4 板橋区

赤星 〇-〇 滝田

今井 〇-〇 平山

高山 〇-〇 本多

松本 引分 川瀬

野田 〇-〇 福田

羽原 〇-〇 吉田

本間 引分 斎藤

上野 引分 堤

河津 引分 本郷

茂木 〇-〇 田中

西幅 〇-〇 都筑

鈴木 〇-〇 藤本

兼子 引分 小野次

鈴木 引分 薄井

久保 〇-〇 奈良

第三十回城北五区剣道大会

六月二十五(日)

板橋区立・赤塚体育館

練馬区 6-11 豊島区

練馬区 3-14 板橋区

〇練馬区	12-6	北区
〇練馬区	13-6	荒川区
優勝	板橋区	五十三勝者
二位	豊島区	三十九勝者
三位	練馬区	三十四勝者
四位	荒川区	二十六勝者
五位	北区	二十三勝者

第十九回 練馬区家庭婦人

パレーボール大会

日程	六月十日	PTA
	六月十五日	クラブ
	六月十七日	クラブ
	六月二十日	PTA・クラブ

競技 クラブの部

PTAの部

場所 区総合体育館

●クラブの部 参加四十四チーム

準々決勝

I V Y 2-1 芙蓉クラブ

練馬ク 2-0 なでしこ

N K C 2-0 小竹クラブ

K V C 2-0 豊玉クラブ

準決勝

練馬ク 2-1 I V Y

K V C 2-0 N K C

決勝

K V C 2-1 2-19 〇練馬ク

●PTAの部 参加十六チーム

準決勝

学園桜小 2-0 旭町小

泉新小 2-0 中村小

決勝

学園桜2 21-10 1泉新小

東晃銃砲火薬店

清瀬市松山 2-15-4

東海林 伍助

TEL 0424-91-7714

三晴接骨院

練馬区小竹町 2-8

松下 淳一

TEL 958-0358

956-9009

第五回少年少女

スポーツ・フェスティバル

五月五日 子供の日

中大グラウンド跡地に

集う二、五〇〇人



開会挨拶の岩波教育長

予定の五月四日が雨のため中止となり、順延されて五日開催された。従って参加者は昨年に比べ少なかつたが、天候・気温とも快適の五月晴れに恵まれ、集った子供達は各コーナーで汗を流し、意義ある一日を過ごした。

主催 練馬区教育委員会
 主幹 練馬区体育協会
 主管 練馬区スポーツ少年団
 午前八時 全委員集合、準備に入る。

参加者受付開始
 午前九時 全員整列

開会宣言
 区旗・体協旗・スポ少旗の入場と掲揚

挨拶 岩波教育長
 奥山体協会長代行

来賓紹介
 この後、参加者二五〇〇人によるマ스ゲーム、人間椅子が行われた。体指の森田さんを中心に、全役員が指導にあたったが、一度のリハーサルもなく、ぶっつけ本番だけに子供達にとまどいが見られた。苦勞の結果どうにか完成、笛を合図に手に持つ風船を一せいに離して人間椅子は無事終了した。澄み切った青空高く、五色の風船が舞い上り子供達から大きな歓声があがり、開会セレモニーはもりあがった。

午前十時 各コーナー開始
 午前九時

ホームランコーナー
 野球愛好の子供達の人気の的長蛇の列がつづいた。

団体なわとび
 一チーム十五名の団体なわとびは、予選から開始された。

ケン玉コーナー
 竹馬コーナー
 輪投げコーナー
 一発ゲートよせコーナー

この四コーナーは成人野球場を使って行われた。以外にむずかしかつたのが、フラフープの大きな輪を使つてのゲーム。ねらいが走まらず、思う様に飛ばず子供達は以外に苦戦していた。

障害物競走
 中央フィールドを使つての障害物競走ノックくり、ネットもぐり、タイヤ引き、跳箱等の障害の連続を次々にクリアー、ゴールまでの一五〇米を懸命に走っていた。

リレー競技・予選
 中食・昼休み
 一汗かいての後、各コーナーは中食休み、楽しい中食となった。この一時間を利用して、フィールド内でアトラクションが行われた。

区少林寺拳法連盟代表演技
 パトントワリング
 富士見中学・高校の皆さんによるパトントワリング。ピンクの揃いのユニフォーム姿の女子生徒の見事な団体演技！

池袋銃砲火薬店

豊島区西池袋1-30-10-105

木下 恵知雄

TEL 985-3718-9

伊藤接骨院

練馬区谷原2-6-28

伊藤 正俊

TEL 995-8750

若さにあふれ、音楽に乗った美しい演技に大きな拍手がわいた。午後の部

●団体なわとび決勝

場所を中央フィールドに移し行われ、大六小ネットボールチームが男子チームをおさえ八十六回を跳んで見事に優勝。

●パン食い競走

午前中の申込書を二〇人ずつに分けて二十五組で行われた。なんといつても目的は、パン

ロープにさがった。あんパンに懸命にとびついて、口におさめにっこり。またたく間に五〇〇個のあんパンは売り切れ。

●四〇〇米リレー決勝

四名一組で走る男女別の決勝レース。各レース共一位より八位までのチームに賞品が贈られた。男子一位は北原少年野球チーム。女子一位は大泉学園ネットボールクラブ。

●クイズ大会

全員参加の最終ゲーム、当りはずれに大歓声！

午後三時 全種目終了

井口スポーツ少年団本部長の閉会宣言で「フェスティバル」の幕を閉じた。

体協・幹部研修会

昨年、施設の都合で中止となった千葉岩井少年自然の家の見学を兼ねての研修会が、二年越しの

企画として実施された。

六月七日(土)午後三時三〇分 集合・参加四十五名 午後四時・閉会

●テーマ「法人化について」

野口理事長

・各区市体協の法人化の状況
・法人化基金と目標と協力体制
・メリットと運用

・現況と推進委員会の設置

●テーマ「体協と加盟団体」

寺崎副理事長

・加盟団体の義務と権利
・体協理事の立場と責任
・加盟団体の事務処理

・全国体との協調と親睦

・スポーツ少年団の育成

岩波教育長 挨拶

●テーマ「体協の発展と確立」

野口理事長

・事務担当委員会の開催

・執行部の任務分担と部会の確立

・区民大会委員会の充実と自主性

・城北五区体協の連携と調整

・区教委との連携

今、我々体協がなさねばならぬ

「法人化」についての説明と、その趣旨を自覚しての各団体の協力の必要性。そして今年から来年度にかけての取り組み方と協議の場づくり、加えて城北五区体協間の体制が提議され、所定の時間をオーバーして午後六時終了した。

午後六時三〇分

参加者全員が三階研修室に集って食事を共にしての懇親会になった。区内の中学生多勢が同宿していたため、従来の進行方法は中止し静かな語り合いの一時で終った。しかし各部屋に帰っての親睦会はそのたつとも忘れ、深夜までつづけられた。

八日(日) 午前九時 朝食後 野口理事長の閉会挨拶で終了。

練馬区家庭婦人バトミントン大会

日程 六月四日 六月十一日

場所 区総合体育館

●一部 二十四組 出場

1 相川・塩沢組

2 沢・林組

3 鈴木・明石組

3 菊地・石川組

●二部 二十四組 出場

1 伊丹・小泉組

2 土田・深野組

3 藤井・西木組

3 佐藤・小林組

●三部 五十二組 出場

1 福田・高田組

2 桑原・鈴木組

3 山口・高野組

3 鈴木・市川組

第十回アジアゲーム 日本代表に区ライフル協会より三名参加

来る九月二十日より、韓国ソウル市に於て開催される、第十回アジア競技大会に練馬区ライフル射撃協会所属の三名の方が日本代表として参加されることになりました。

コーチ 香西俊輔
男子選手 大浦公彦
女子選手 香西武子
健闘をお祈りします。

発行 練馬区体育協会

練馬区谷原一ノ七ノ五 区立総合体育館内

TEL 九九五一一八〇七

代表 奥山 則男

編集 野口 嘉郎

印刷 天野 文男

工業社

「法人化の達成に

もう一歩！

頑張ろう！

市毛接骨院

練馬区関町1-6
市毛富士穂
TEL 928-0346

吉田接骨院

練馬区桜台1-44
吉田邦治
TEL 991-5788